

【特集】 「ILC誘致推進大会」

「ILC実現を熱望する住民の会」(会長:一関商工会議所会頭佐藤眺僖氏)は5月24日、大原市民センターを会場にILC誘致推進大会を開催し、約400人が参加しました。

大会の最後には「地域が一体となりILCの実現に向けて強力に取り組んでいく」とする大会宣言が採択され、この宣言は、今後、政府(関係省庁)に届けられる予定となっています。

基調講演

「ILC計画に関する見解への視点とその後の動きについて」 東京大学素粒子物理国際研究センター 特任教授 山下了氏 やましたさとる

(3月7日の政府見解について)省庁をまたいでの意見集約は初めてのことで、非常に大きなことだった。特に「ILC計画に関心を持って国際的な意見交換を継続する」との中の「関心」の言葉はとても重要で、極めて大きな一歩を踏み出してもらったといえる。

KEKの国際ワーキンググループが費用分担や技術的課題について検討を進めており、9月には検討結果がまとめられる。一方で、学会会議のマスタープランというプロセスの中でしっかりILCを議論してもらい、いろんな分野の方に理解いただくことがとても重要で、9月頃にはマスタープランの全体ヒアリングが行われる。また、10月には仙台で国際会議が開かれるが、そこまでにKEKワーキンググループの検討やマスタープランの議論など、同時並行で着実に進んでいくことが大事で、一つ一つ丁寧にやっていくことが重要である。10月が大きな山場となる。それを経て次の段階に進むことができる。



活動発表①

「ILC誘致に向けた大東地域の取り組み」

おぼらたまよし
大東地域ILC委員会委員長 小原玉義氏

委員会の取り組みとしては①ILCを知る、②ILCを知ってもらう、③現地を知る、④まちづくりについて学ぶの4つ。みなさんにもILCを知ってもらおうと、大東図書館内にILC学びツールを設置しているので、ぜひ活用していただきたい。

これからも安心・安全の取り組みを含めて誘致実現を目指していきたい。

活動発表②

「ILC誘致に向けた若手社員による検討の報告」

むらたつかさ
両磐インダストリアルプラザILC若手検討会 村田宰氏

まちづくりについて、①次世代を担う子どもたちの教育、②外国人が安心して暮らせる環境づくり、③人口減少に歯止めをかける魅力づくりの3つをテーマとして検討した。2014年には検討結果を報告書としてまとめ、市に提出した。

一関工業高等専門学校が開発したウェブアプリ「マップコXD」をILCや企業のPRに活用できると思う。

CONTENTS

- ★ 特集 ILC誘致推進大会
- ★ ピックアップニュース
- ★ ニュースクリッピング
- ★ Q&Aコーナー
- ★ Bell'sコーナー
- ★ What brought you to Ichinoseki?





ピックアップニュース

▶ ILC講演会～政府の関心表明を受けて～



「会長島耕作」やILCについて講演する弘兼氏

岩手県国際リニアコライダー推進協議会（会長：盛岡商工会議所会頭谷村邦久氏）は3月27日、盛岡市内のホテルを会場に「ILC講演会～政府の関心表明を受けて～」を開催しました。この講演会は、3月7日に日本政府が初めてILC計画への関心を表明したことを受け開催されたもので、県内外から約400人が集まりました。

人気漫画「会長 島耕作」でILCを取り上げている作者の弘兼憲史氏は「国家プロジェクトとして捉え、読者に理解してもらおうと描いた。漫画では、ILCが世界とつながる地方都市を岩手に生み出し、日本の成長の新たなモデルになることを示した。広く理解してもらうためにも関係省庁やマスコミへの働きかけを強め、岩手に誘致できるように一緒に頑張る」と述べました。

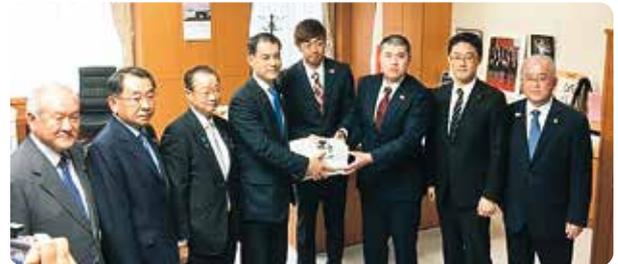
▶ ILC解説セミナー



東北ILC推進協議会の下に設置されている東北ILC準備室は3月17日、大原市民センターを会場にILC解説セミナーを開催し、約100人が参加しました。

ILCの最新動向やILCに関する質問・疑問について、東北ILC準備室地域部門長佐々木淳氏（岩手県理事）と高エネルギー加速器研究機構（KEK）の道園真一郎氏が解説しました。

▶ 学生が署名を文部科学省へ提出



文科大臣に署名を手渡す浅利さん（右から3人目）と金野さん（右から4人目）

県立一関第一高等学校出身で岩手医科大学2年の浅利寛喜さんと東北大学2年の金野遼大さんは3月28日、柴山昌彦文部科学大臣に高校在学中からはじめたILC実現を願う署名5,664人分を手渡しました。

浅利さんは「ILCを誘致し岩手県の学問、経済的発展につなげてほしい」、金野さんは「物理学を学ぶものとして、ぜひILCで研究したい」と熱意を伝えました。

★市では、自治会や各種団体などが主催するILC勉強会・講演会に講師を派遣します。市職員が講師としてお伺いするほか、実施内容に応じて研究者や県のILCキャラバンの派遣についてアドバイスを行っています。

Q&A コーナー

市民の皆さんから寄せられた質問等にお答えするコーナーです。



ILCでは放射線が発生するのですか？



ILCの運転で加速した粒子の衝突により、ビームダンプ※1と陽電子源※2において、素材の放射化（放射能が生成すること）が起こります。これらの場所では、放射化は素材内部に留まり、拡散のおそれはありません。ビームダンプからの放射線は、局所シールドにより遮へいされ、加速器トンネル内は人が作業できる放射線レベルに保たれます。ビームダンプでは水を使用します。このビームダンプ水は放射化（トリチウム※3が発生）しますが、閉鎖された循環システム内で循環し、排水をしませんので、施設外の自然水への影響はありません。このビームダンプ施設には、万が一の事故による漏水の際にも施設外へのビームダンプ水が流れ出さないような対策を行います。

ニュースクリッピング

政府が初めてILC計画への関心を表明

文部科学省は3月7日、「ILC計画に関心を持って国際的な意見交換を継続する」と、初めてILC計画への関心を表明しました。これに対し、ILC計画を国際的に推進しているICFA（国際将来加速器委員会）の議長であるジェフリー・テイラー氏は同日「私たちは、日本からのILCのホストに対する積極的な姿勢が、そう遠くない将来に表明されることを、今なお大きく期待しています」と述べました。

また、3月22日、ICFAは「文部科学省および関係省庁におけるILCへの継続的な関心の表明を、ILC実現に沿った重要なマイルストーン（節目）と見なしています」と声明を発表しました。

新たに横断幕とポスターを作製

岩手県では、政府の関心表明を受けて、新たに横断幕とポスターを作製しました。岩手の黄金文化をイメージし「We're ready for the ILC! ~国際リニアコライダーを東北へ!~」の文字を金色でデザインしました。横断幕は岩手県庁舎ほか一ノ関駅東口通路にも掲示しています。



横断幕



ポスター

KEKが国際ワーキンググループ設置を表明

高エネルギー加速器研究機構（KEK）は4月2日、政府の関心表明を受けて、研究者による国際ワーキンググループを設置し、技術的な役割分担や国際的な経費分担などについて協議を進め、9月をめどに報告書としてまとめる方針を明らかにしました。

ワーキンググループは、日本2人、アメリカ2人、ドイツ・フランス・インド各1人の計7人で構成され、5月17日に第1回目を開催しました。

岩手・宮城共同議連要望

岩手県議会・宮城県議会国際リニアコライダー建設実現議員連盟は4月18日、文部科学省、自由民主党、超党派の国会議員連盟に対し、ILCを国家プロジェクトと位置づけ、早期に日本誘致を表明するよう要望しました。

登米市国際リニアコライダー誘致推進協議会総会の開催

登米市国際リニアコライダー誘致推進協議会は5月23日、登米市内のホテルを会場に、通常総会を開催しました。総会には、会員代表ら約100人が出席しました。総会后、特別講演会として、前防衛大臣の小野寺五典衆議院議員が今後のILC誘致の動向についてをテーマに講演し、「地域の盛り上がり、それを受けての政治の盛り上がり、研究者からの要請の三位一体となった取り組みが必要」と述べました。



講演する小野寺衆議院議員

※1 ビームダンプ：使用し終わったビームを吸収する装置 ※2 陽電子源：衝突させるビーム粒子の一つである陽電子を生成する装置
※3 トリチウム：「三重水素」とも呼ばれる、水素の放射同位体（半減期12.3年）

ビームダンプや陽電子源以外では水が放射化されない構造となっています。万が一トンネルに（ビームダンプ水以外の）漏水が出た場合は、すべて、検査を行い排水するなどの管理を行います。

補足 ILC 実験施設で使われる「水」の種類

- ① ビームダンプ水（ビームの吸収により放射化する）
- ② 1次冷却水（ビームダンプ以外の電源装置などに使用され、ビームを吸収しない）
- ③ 2次冷却水（①や②に直接接することなく、熱交換機を介した冷却に用いる）





国際化推進員のベル・あいみです。
ここでは、私の仕事内容や生活していて
気づいたことなどを紹介していきます。



「119番についてもっと詳しく知る必要がある」

アメリカから来た友人が一関を旅行中に胸が苦しくなり、顔が真っ赤になっても、「救急車を呼んじゃダメ」と繰り返しました。アメリカでは州によって救急車の呼び出しだけで数万円かかるケースがあり、私の出身であるオーストラリアでも安いイメージはないので、お互い「救急車は高い」と思い込んでいました。やがて友達の症状は治まったので病院へは行きませんでした。翌日、日本人の友人から、救急車を要請するのは無料だということを知りました。

この経験から、私は市消防本部を訪れ、外国人が救急車を呼ぶ場合について学んできました。

実際に、職員の方に立ち会ってもらい119番に電話をかけてみました。英語で話すと、消防本部が三者間通訳につながってくれました。このシステムは英語の他「中国語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語」にも対応できるそうです。多言語アプリ（15カ国語）についても紹介されました。このシステムにより、症状を伝えることで救急車が出動することを知りました。このような情報を知っていれば、非常時に正しいアドバイスができるので、将来ここに住んでいる外国人のためのグループ研修が行われることが理想だと思いました。ちなみに、先の友人はアメリカで治療を受けて、元気に過ごしています！

What brought you to Ichinoseki?

一関でこんなことをしています

ケルシー ステファン

Kelsey Stephan さん (28) アメリカ出身

プロフィール

- 仕事 ALT (外国語指導助手)
- 趣味 読書、写真
- 好きな場所 狛鼻溪
- 好きな食べ物 刺身
- 好きなイベント 全国地ビール フェスティバルin 一関



日本語に興味を持ち始めたのは高校生の頃でした。当時の日本語の先生は岩手県出身の方でした。恩返ししたい気持ちをずっと持って、それをきっかけに大学卒業後、日本で英語を教える道を選びました。希望先は岩手県を選択し、一関に派遣されました。市内の中学校と高校で教えていて、勉強や運動に頑張っている先生や学生と交流することを楽しんでいます。車がないので、一関の風景を見ながら、よく歩きます。できるだけ多くの神社やお寺を訪ねたいです。日本の伝統的なものが好きで、手ぬぐい作り体験や、和菓子作りなどに参加しています。先日、マイ南部鉄器を買いました！



発行 岩手県一関市
編集 市長公室 ILC推進課

〒021-8501 岩手県一関市竹山町7番2号
TEL 0191-21-8315 FAX 0191-21-2164
URL <https://www.city.ichinoseki.iwate.jp/ilc/>
E-mail ilc@city.ichinoseki.iwate.jp

専用ホームページ、SNSで情報を発信中！



一関市国際リニアコライダー推進ホームページ
ILCニュースWEB
International Linear Collider

くわしくはこちらで検索！

一関市 ILC 検索

Facebook
Twitterでも発信中！

